

平成31年3月2日

足立区立西新井第二小学校  
校長 吉川浩司様

足立区立西新井第二小学校 開かれた学校づくり協議会  
会長 山本祥一

## 平成30年度 学校関係者評価書

### 1 評価の基本的な視点（姿勢）

自己評価書及び学校教育アンケート（保護者・児童）とともに、年間の学校教育を観察・考察し、広い視点から学校関係者評価を実施する。

### 2 今年度の重点目標と取り組み

児童の健全育成（知・徳・体）の立場から①基礎・基本の学力の定着②豊かな心の育成③体力の向上等の取り組みに対して成果を認めることができる。特に基礎学力向上のために放課後補習教室を週に3回、30分行っている。また、体力向上のための始業前の運動や日常的な外遊びの励行等が欠席児童の減少や、学校へ行くことが楽しい（児童へのアンケート）等に表れている。知・徳・体の調和ある教育活動が今年度も展開されている。

### 3 基礎・基本の学力の定着・向上

基礎学力の定着・向上に向けて、授業の他に「朝学習（計算練習や漢字学習）」学力ポートフォリオ作成」「放課後補習教室」「家庭学習の推進」等、多くの工夫や努力をしている。

2月に行われた「足立区学力定着年度末確認」（※①）では、

国語の目標値通過率が学校全体で65%

算数の目標値通過率が学校全体で53%という結果が出た。

なお一層の努力が求められる結果となった。

また、4月に行われた「足立区学力調査」（※②）では、

国語の目標値通過率が学校全体で72%

算数の目標値通過率が学校全体で70%という結果であった。

※①その学年の内容の全てから出題されるので、未習の問題も含まれる。

※②前の学年の内容が出題される。

### 4 豊かな心とたくましい体の育成

児童アンケートからは、「学校が楽しい」と答えた児童が85%いる。一方で、（あまり）楽しくないと感じている児童が3.5%いる。また、相談できる友達や先生が（どちらかという）いないと答えている児童が、4.5%いる。この数字は、決して少ない数ではない。児童同士、児童と教師、児童と地域の方々とのかかわりを重視し、学校、地域で大切な存在であるという気持ちを高める教育、児童が居場所、やりがいを感じられる教育を学校が今後も展開していくことを期待する。

いじめについては、「いじめアンケート」を初めとして、教員の努力は窺える。組織力を生かし、今後もしじめを未然に防ぐことに努めて欲しい。

児童の健全育成については、今後も学校、家庭、地域全体の三者協働で取り組んでいく

ことが本校のよき伝統として築かれるであろう。

また、教員の資質向上を望む。言葉遣いや態度など、子どもの手本となれるように。

## 5 体力の向上

学校、家庭、地域が連携し、児童の体力向上を目指す。持久走記録会は、それぞれが連携し合ったよい例であった。保護者アンケートでは、この項目の「どちらでもない」の評価が最も数値が大きかった。遊びの内容に関しては、子どもに任せている。任せざるを得ないというところであろうか。地域では、安心して遊べる場や時間が減少している。室内遊びを好む子どもも少なくない。開かれの「わくわくセンター」で行われているようないろいろな運動遊びを経験することがバランスのよい体力を作る上で大切で、そのためには、回りの大人の協力が必要である。

## 6 家庭教育の課題

本協議会が家庭教育の基本と位置づけている三点は、「家庭学習の充実」「善悪や社会の決まり」「健康への留意」である。

「家庭学習の充実」については、保護者アンケートから、10%の家庭が宿題や学習の準備にしっかりと、関わっていないと回答している。家庭の状況により困難な場合もあるが、学校から家庭への働きかけと連動して、協議会としても協力していくことが大切である。「善悪や社会の決まり」は、「あまりできていない」がわずかに1%であり、各家庭、よく努力していることが窺える。「健康への留意」については、運動・栄養・睡眠の3つをバランスよく十分にとらせることが大切である。家庭にあっては、栄養バランスのとれた食事を適切に与えるよう望む。また、子どもにとって必要な睡眠時間、適切な就寝時間をとらせるよう、配慮願いたい。

## 7 足立区教育委員会への要望

- ① 土曜授業の日にもスクールゾーンを設定して欲しい。
- ② 校舎の老朽化が進んでいる。特に、トイレ（31、32年度改修）の個室や廊下床（長尺シート）の剥がれや教室出入りロドアの不具合など、児童の安全に影響が出そうな箇所も見受けられる。今年度、図工室流しなど修繕を行っていただいたが、早急な修繕工事や校舎改修を進めていただきたい。
- ③ 教員の事務量の軽減  
教員間の共通理解を深め、日常の教育活動を充実させ、資質向上させていくためには、教員の事務量を減らす必要がある。
- ④ 通学時の不審者被害防止対策・交通安全  
協議会として地域の協力を得て児童の登校下校時に「見守り隊」を配置して安全を図っているが、「防犯カメラ」の設置を進めて（31年度5台設置）、不審者被害の未然防止に努めていただきたい。  
通学路上の「文マーク」、ガードレールを増やして欲しい。